

直方の歴史と文化

直方の遺跡②

文 榊正澄

第 14 回

平成27年度の遺跡調査結果

直方市教育委員会による昨年度の遺跡調査結果は次のとおりで、二については前号で概略を紹介しましたので、今回は詳細を説明します。

一・光福寺遺跡

光福寺は下境の台地上にある浄土真宗本願寺派の寺院で、三方を土塁に囲まれています。

以前からこの土塁は鞍手郡の荘園であった粥田荘を管理する庄屋敷の遺構ではないかとされてきましたが年代の確定はできませんでした。

今回の発掘調査により土塁の盛土の下部から鎌倉時代の土器が出土し、土塁の造成時期が概ね特定されました。



直方惣郭図の一部 (田代半七郎)

粥田荘は平家の滅亡後、北条政子の所領となり、のち高野山の金剛三昧院(鎌倉將軍家の菩提寺)に寄進され、庄屋敷が設置されましたが、その時期と一致します。

このような大規模の中世土塁が現存する例は県内では数少なく、全国的にも極めて貴重な遺跡です。

二・羽高東横穴墓群

福智山から西側に伸びる丘陵の先端にあり、東の200号バイパスと西の田川バイパスに挟まれています。

丘陵の先端部には古墳時代の横穴墓が、谷間の部分には奈良時代から平安時代にかけての小さな穴や溝が掘られており、大量の土器が出土しました。

古墳時代後期(6世紀末〜7世紀前半頃)の横穴墓は4基あり、残念ながら盗掘を受けて遺物はほとんどありませんでしたが、上下二段という構造でした。

これまで直方市内では奈良・平安期の遺跡調査は少なかったのですが今回の発掘調査により羽高地区周辺で古代および近世の生活の痕跡が確

認されました。

三・殿町遺跡2次調査

NITの建物の西側、コンビニの向かいに所在する遺跡で、直方藩城下町時代の絵図「直方惣郭図」上では田代半七郎跡と考えられます。

谷尾美術館収蔵庫建設に伴う調査でしたが、残念ながら武家屋敷の遺構・遺物は非常に少なく、近世〜近代にかけての遺物が出土しました。

四・平原池ノ上遺跡

下新入の剣神社から鞍手町へ向かう県道の「長田前緑ヶ丘団地」バス停の先、南側の平原池の北西側にある弥生時代中期頃(約2000年前)の集落跡で、2棟の竪穴建物と5基の土坑が見つかりました。

この竪穴建物は、非常に保存状態が良く、土坑は貯蔵穴ではないかと考えられます。



平原池ノ上遺跡

文化財に関する問い合わせ

文化・スポーツ推進課社会教育係
(TEL 25-2326)

直方警察署だより

直方警察署管内での犯罪発生状況 (3月中)

刑法犯総数	102件 (+8件)	車上ねらい	3件 (-18件)
自転車盗	13件 (±0件)	空き巣	5件 (+3件)

()内は前年比

架空請求詐欺・還付金詐欺・オレオレ詐欺は

電話機能で防ぐ

- 留守番電話を活用する。
- 自動通話録音装置を活用する。



- 電話で「お金の話」はすべて詐欺
- 慌てて、ひとりで決断せず必ず家族や警察に相談

編集後記

もち吉のご協力、熊本まで水を無事お届けすることができました。また、市民からたくさんの支援物資をお預かりしました。これらの物資が、少しでも早く被災者のもとへ届くこと、そして一日も早い復興を願うばかりです。(O)

直方警察署
(TEL 22-0110)

携帯電話向け情報提供サービス



情報メール
「つながるおがた」
緊急情報、イベント情報など



直方市携帯電話ホームページ

休日当番医、市役所電話帳など

